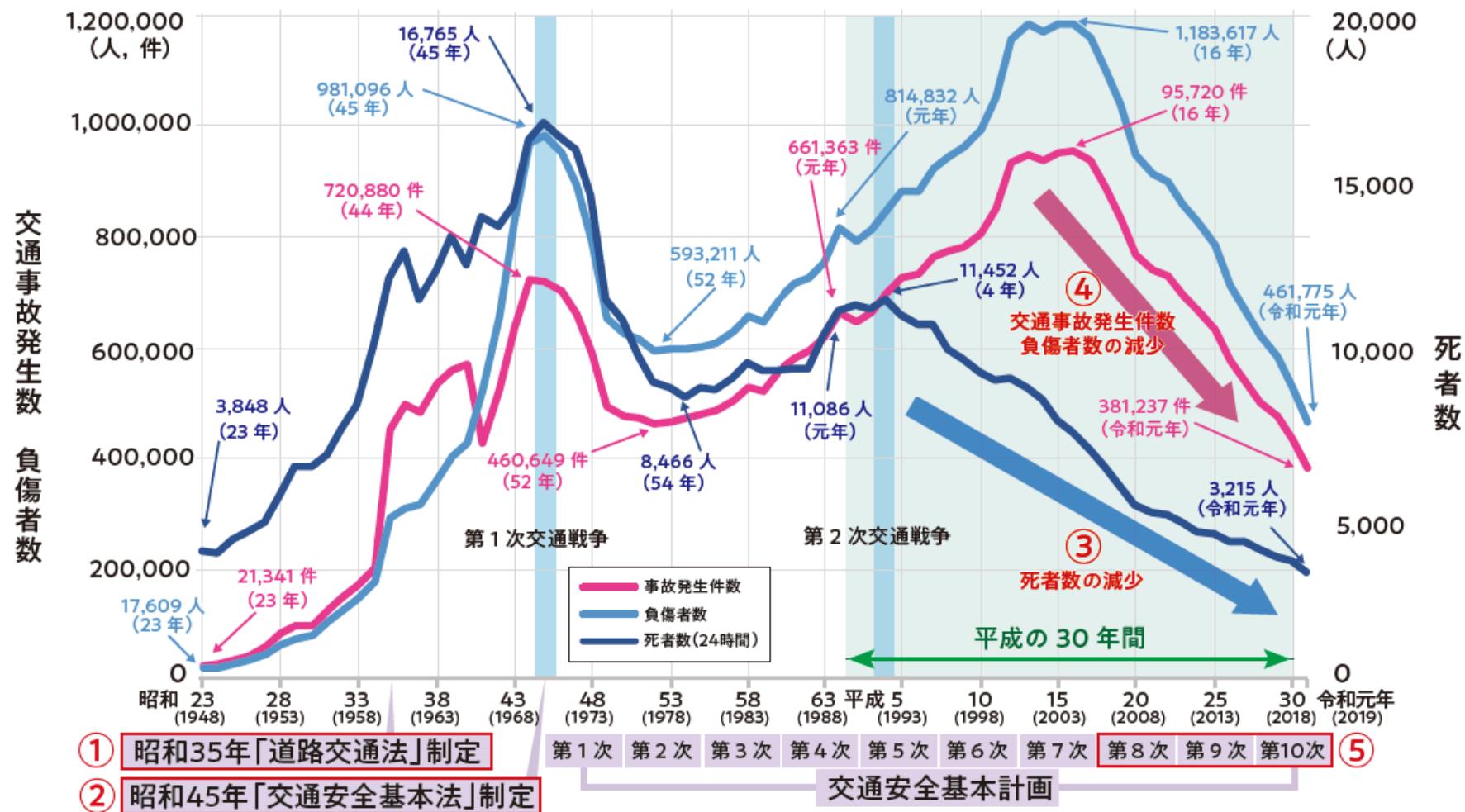
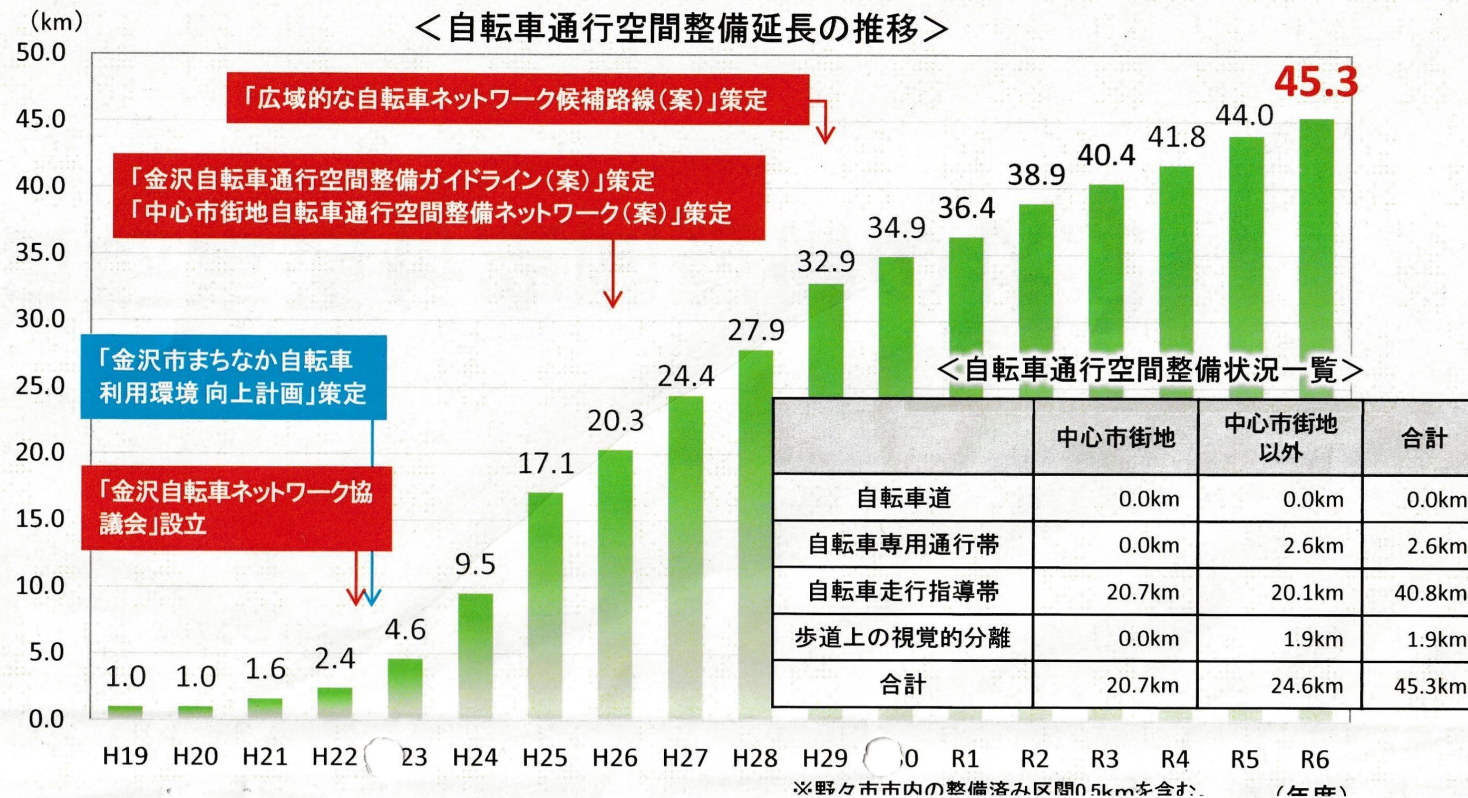


今日、お話ししたいこと

1. 「ビジョン・ゼロ」の考え方
2. 住民参加について
3. 連携と協力について



- 整備済み延長は、R7年3月現在で45.3km(R5年度から1.3km増)。
- 通行空間の内訳は、自転車走行指導帯40.8km、自転車専用通行帯2.6km、歩道分離1.9km。
- 中心市街地では、整備ネットワーク路線59.0kmのうち、20.7kmが整備済み(整備率約35.1%)。
- 中心市街地以外では、主に高校周辺において24.6kmが整備済み。



4. 国土交通省 金沢河川国道事務所

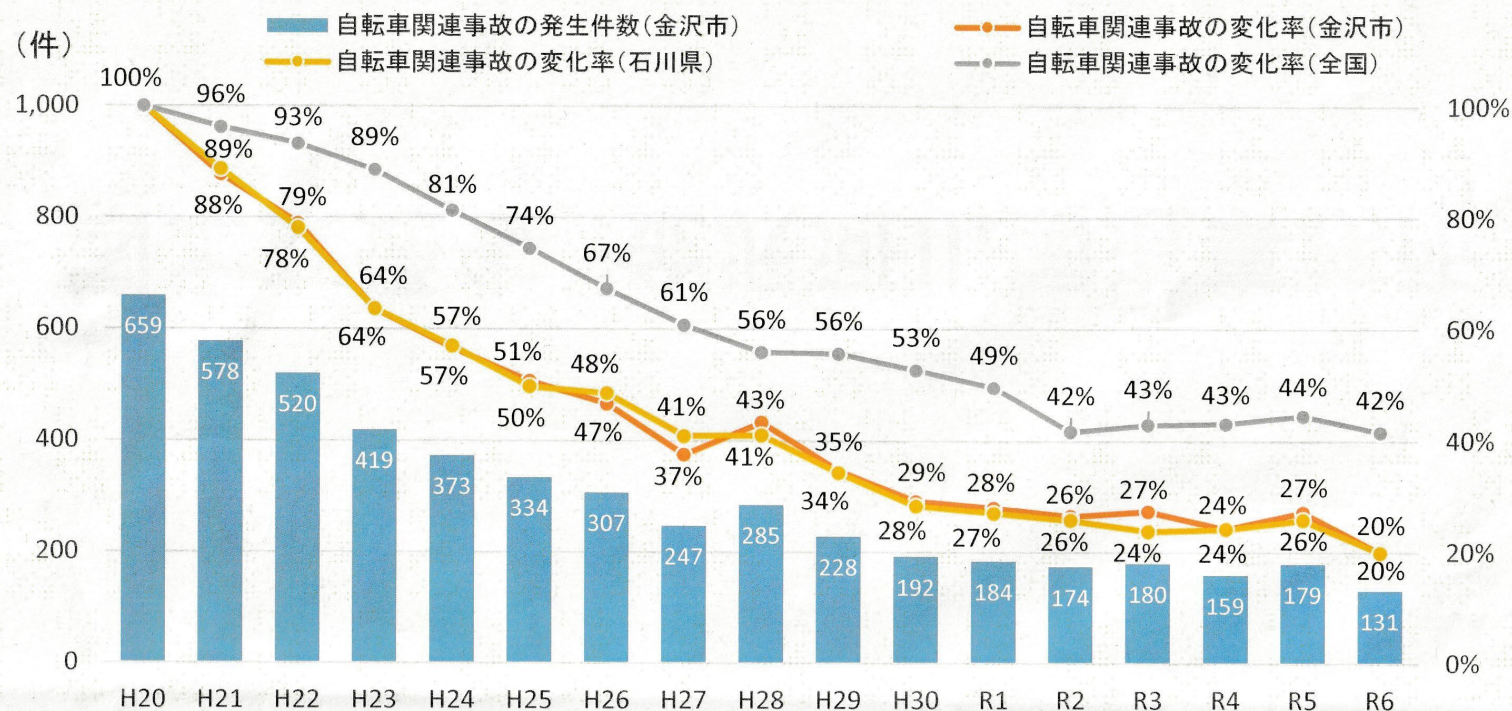
10

1) 自転車関連事故分析の実施

- 石川県警本部提供の自転車関連事故データを集計し、事故発生状況を分析することで、自転車通行空間整備による効果や課題を検証。
- 金沢市内でのR6年中の自転車関連事故件数は131件と、前年と比べて48件減少。

成果

【自転車関連事故の発生件数と変化率(金沢市:H20-R6、H20=100%)】



自転車関連事故が80%減少



金沢での路面標示には
文字が書いてある
← 「金沢版自転車ガイドライン」



自転車交通安全のための
街頭指導マニュアル



金沢自転車ネットワーク協議会

2011 金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業

住民及び行政関係者での検討会(4回)

